

始めてみませんか

地球と財布にやさしいエコドライブ

地球温暖化対策の中で一番大きな課題なのがCO²の排出量削減。このCO²の排出量を減らすには化石燃料の消費を減らす必要があります。運輸部門のCO²排出量は全体の約2割です。その中でも自家用車からの排出量が約半分を占めており、自家用車から排出されるCO²を削減することが急務なのです。

深刻化する地球温暖化問題

地球温暖化が深刻な問題となっています。地球の平均気温は1990～2100年の間に最大5.8度上昇すると予測されています。このような状況を受け、平成17年2月16日に京都で行われた気候変動枠組条約第3回締約国会議において、地球の温暖化を抑えることを目的とした「京都議定書」が発効されました。議定書により、日本は2008～2012年の間に、温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを1990年比で6%削減することが義務づけられました。

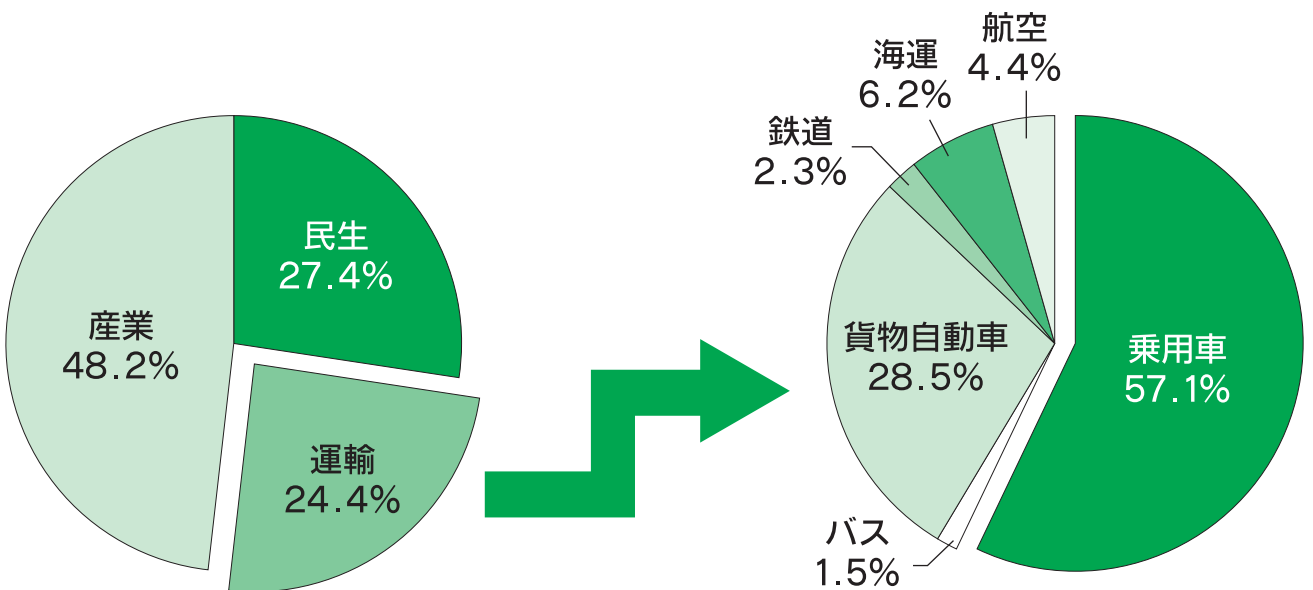
しかし、日本の温室効果ガスの総排出量は、1990年度と比べ、2005年度（速報値）は8.1%上昇している状況にあり、6%削減約束との差は14.1%となっています。これは、温室効果ガスの9割を占める二酸化炭素が大幅に増大したことが原因です。

エコドライブの実践で地球温暖化を防ぐ

現在、自動車や鉄道、航空、船舶などにより、人や物が移動することで、私たちの生活は便利で豊かなものになっています。しかし、これら交通手段のエネルギーとして使用される石油や石炭などの化石燃料を燃焼することにより、二酸化炭素などの温室効果ガスが排出されるのです。

わが国全体の二酸化炭素排出量の約2割を運輸部門が占めています。そのうち、自家用乗用車からの排出量は半分を越えています。運輸部門でのエネルギー消費は増え続けていて、今後も増えていくことが見込まれます。

そこで、二酸化炭素の排出を減らすため、「エコドライブ」に取り組むことが求められています。ドライバー一人ひとりが環境に配慮した自動車の運転をする。ちょっとした気遣いを積み重ねれば、二酸化炭素排出の大きな削減効果が期待できるのです。一人ひとりがエコドライブをすることによって、京都議定書の削減量のうち、約1割程度削減することが可能になります。



部門別エネルギー消費比率

運輸部門エネルギー消費比率

エネルギー・経済統計要覧 2004 版